

新副市長のご紹介

竹中氏は、市議会3月定例会において議会の同意を得て、4月1日付で、副市長に就任しました。

平成5年、旧労働省に入省し、多くの職場を経験し、平成30年4月から(独)労働政策研究・研修機構労働大学校准教授を務められました。国の労働行政の知識と経験を生かし、副市長として力を発揮することが期待されています。



竹中 郁子氏
(上宮地町)

<持田氏、副市長を退任>

持田末広氏は3月31日付で、副市長を退任されました。

持田氏は平成27年4月から4年間副市長を務められました。



上町三丁目にある市有地を活用し、市が地域開放型交流施設「花の木交流センター」を、連携事業者「株式会社コミュニティネット」が、サ高住「ゆいま〜る花の木」を整備します。現在、交流センターは建物がほぼ完成し、外構工事等を行っています。また、サ高住は3月末に着工し、現在建物工事が進んでいます。



市では、秩父版CCRC「モデル事業(拠点整備事業)」の一環として、公民連携によりサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)等を整備する花の木プロジェクトを進めています。

花の木プロジェクトの進捗状況をお知らせします

県知事表彰

第12回本多静六賞



藺田 稔氏
(番場町)



新元号が令和と決まりました。市民の皆さんとともに、新しい時代の始まりをお祝したいと思えます。平成から令和へ時代は変わりますが、「継続は力なり」と申しますが、私は、市民の皆さんの幸せを常に第一に考え、市政を推進していきますので、今まで取り組んできたさまざまな事業については、決して途絶えることなく継続してまいります。そんな中、先月の市報でもご紹介したとおり、今年、私が掲げた三大事業の一つ「秩父新電力会社の推進」については、秩父ビジネ

「令和」の輝かしいスタート!

市長 久喜 邦康



「和を以って
たつと貴しと為す」

スプラザに社屋を構え、公共施設への電力供給を4月から開始しました。仮に、前年度と同じ電気量を使用したとすると秩父市全体では、約1%電気料金を削減でき、二酸化炭素排出係数は、22%ほど削減することができます。

削減できた費用は、市民の皆さんの福祉向上や安全安心の取り組みに充当することができます。で、電気の地産地消による新たなサービスの充実が期待されます。輝かしい令和時代のスタートに、このコラムで素晴らしい内容をお伝えすることができました。

副市長以下、新しい体制となり、ひと月が経ちましたが、全ての職員が新元号のもと「光り輝く、日本一幸せな秩父市創造」に向け全力を傾注しています。

どうぞ、気軽にふらっと市長室などお越しいただき、まちづくりへのご意見などお寄せください。市民の皆さまとともに、令和を一步一步前へ前へ着実に歩いていきたいと存じます。

お気軽にお越しください! ふらっと市長室

●6月26日(水)

9:00~10:00 大滝総合支所

11:00~11:30 本庁舎1階

※日程は変更となる場合があります。

問秘書広報課

☎22-2201